


第3号様式（第1項3号関係）

視察等報告書

平成30年 6月 21日	
(あて先) 横須賀市議会議長	
渡辺 光一 	
実施期日	平成30年05月22日（火） ～ 平成30年05月24日（木）
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ① 神奈川県相模原市 LCA国際小学校 ② 広島県呉市 呉市役所 ③ 静岡県浜松市 農業生産法人京丸園
視察等内容	<ul style="list-style-type: none"> ① LCA国際小学校における英語教育について ② 呉観光振興策について ③ 農業生産法人京丸園 浜松市ユニバーサル農業の取り組みについて
参加議員名	
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査、研修 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 活動内容を詳細に記載した報告書 ・ 要請又は陳情活動、会議 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 要請書、陳情書、開催通知、スケジュール等の資料

備考 氏名を署名した場合は、押印を省略できます。



視察報告書

平成 30 年 5 月 22 日（火）～ 平成 30 年 5 月 24 日（木）

【相模原市 一 LCA 国際小学校】

LCA 国際学園は、2008 年に学校法人ではなく、株式会社が運営する小学校として、文部科学省が認可し、開校した日本初の「株式会社立認可小学校」であり、当時の小泉内閣が推進した「構造改革特区」の制度を利用して実現した“日本初”と“日本唯一”の両方を持つユニークな小学校となっている。

学校生活の大半を英語で過ごし、その為教師陣の約半数は外国出身者で、アメリカ、イギリス、オーストラリア等以外にもアジア系など、まさにインターナショナルな構成となっていて、母国で教員資格を取り、さらに県から臨時免許を取っている。

1～3 年生は国語を除く全教科を、そして 4～6 年生は基礎科目以外の教科を英語で授業を受けることになる。また、学校の方針として、日本人のアイデンティティを大切にすべし、との考えから国語以外にも日本人としての学習や茶道、華道など日本文化の指導にも力を入れている。

一般的な学校と違いカリキュラムを自由に組んで特色を打ち出すことができることや、校舎や運動場等の施設についての条件が緩い等の利点が挙げられる一方、私学助成金が受けられず、また学校法人への寄付には認められている税制上の優遇措置がない等、経営面・財政面で不利な点がある。実際にかなり厳しい状況にあると訴えていた。その点は当然ながら授業料に反映してくるのであるが、それでもこうした環境をお子さんに与えたいと考える保護者の皆さんは多いのだろう。

今や日本の英語教育は近隣各国の中でも、完全に後れを取っている。

小さい頃からの英語教育には賛否が分かれるところではあるが、個人的にはより自然に多言語を吸収しやすく、より英語に親しめるのはやはり幼少期からだと考えているため、こうした英語教育はもっと広がりを見せるべきだと思う。学校の中で、教科としてその時間だけ英語を勉強していても、なかなか会話力は身に付かない。日本語が自然と上達しているのは教科ではなく、コミュニケーションツールとしての日本語があるからだと思われる。本市は英語に触れる機会が多いだけに、より一層、英語教育の検討を進めたいと感じる。

【呉市 ― 呉観光振興策】

呉市は旧軍港市として、また日本遺産登録など、横須賀市と共通点が多い。呉といえば海上自衛隊や造船のまち、といったイメージが強く、観光地としての認識は定着していなかった。

大和ミュージアムが開館したH 17年から観光客が急増したものの、訪れた方々はそれ以外の場所には立ち寄らず、帰ってしまうことが多かったそうである。中心部のホテル不足が課題となったそうであるが、こんなところも横須賀市と共通している。しかしながら、年間通じて集客が見込める目玉施設があることは大きな強みであり、横須賀とは異なる点である。

個人の見解としては、目的となる集客施設があって人はそこを訪れるのであり、何も無い所に先行してホテルだけ建てるのはあり得ないと思っている。

ホテルだっておそらく経営は地獄であろう。

いずれにしても呉市は目玉があり、何とか周遊・宿泊につなげたいとの思いからシティ・プロモーションの取り組みが本格化したそうである。

平成の大合併により、瀬戸内海の島々も観光資源として生かし、食や景観も呉の魅力として備わっている。

それらを全国に発信し、認知してもらえる方法として、インパクトのあるキャラクターを利用し、SNSで動画を配信することで、話題性を狙っていった。

当初は「今時ご当地キャラ?」、「デザインが雑」などネガティブな意見もあったそうだが、大手広告代理店の電通による企画・製作で、予算も平成 28 年度は 3,000 万円、29 年度は 4,600 万円、30 年度は 2,000 万円を計上し、結果宣伝効果は約 3 億円以上となったそうである。

正直なところビジュアル的にはゆるキャラ特有の“かわいらしさ”はなく、作り込みも単純な自慢のキャラクターである『呉氏』がキレッキレのダンスを動画で配信し、再生回数は 1 作目が 61 万回、2 作目が 11 万回と成果を出し、マスコミにも取り上げられるようになったそうである。



グッズも充実のラインナップ。
呉氏の表情もどこか明るい

ご当地キャラクターの生かし方は重要であると感じる。

横須賀市のスカリンも、今後もう一肌脱いでもらいたいと思っている。

キャラクター設定をもう少し練り上げて、特徴を際立たせる必要があるし、若い人たちに愛されるキャラを目指す上で、例えばLINE スタンプを作るとか、いろいろと検討が必要だろう。

この他にも、フィルムコミッションによる映画などで露出を高めることにも一定の成果を上げている。かつて横須賀市もフィルムコミッションを行っていたが、犯罪現場等になってしまったり、屋内の場所貸しに利用されたりと、あまり効果が見られなかった。また、本市は都心から近く、ロケも日帰りが可能な立地となっているが、呉市の場合、宿泊を伴う。せっかく来たのだからもう少し撮影しよう、という意識が働いているように思われる、との感想も聞いたが、立地条件を言われたら元も子もないのである。

【浜松市 ― ユニバーサル農業の取り組み（農業生産法人 京丸園）】

ユニバーサル農業とは、「普遍的な」、「全体的の」という意味合いから、誰もが参加できる農業を表している。

農業の跡継ぎ問題と、障がい者の職域開拓・雇用促進をマッチングする『農福連携』の取り組みが広がっている。

知的・身体・精神などの障がいがある方を、農業の場で雇用することで、農業の現場は改めて問題点がわかり、障がいがある方でも働くことができる農業へと切り替え、農業と福祉の融合によって、事業運営の良さを実感しているとのこと。この会社は89名のメンバーのうち24名(割合27%)に障がいがある。

障がい者、農業、企業がそれぞれ役割分担をして、気づき→改善→行動を早いスピードで繰り返し、清潔な環境で良いものを作って黒字経営をしている。

規模拡大のため求人出したところ、障がいのある子とその母親が「働かせてほしい」とやって来たが、農業はできないだろうと最初は断ったそうである。

それでも必死に懇願し続ける姿と「給料はいらないから働かせてほしい」との言葉に大きな衝撃を受けたという。

『お金を稼ぐために仕事をする』のであって、母親の言い分が理解できなかったが、後に福祉施設に勤める知人から「障がい者を雇い入れる企業はまだ少なく、就職ができなかった方は施設に行くことになり、面倒を見てもらう立場になるため、働き場に身を置くこととは違うのだ」と知ったという。

本市でも障がい者の“親亡き後”の問題が議論される場面も多い。親御さんとしては、我が子の行く末を考えると、仕事についてほしいと願う気持ちや、この世に生まれたからには我が子の（あるいは自分の）力を社会に生かしたい、役に立ちたい」という気持ちがあることを知ったそうである。

京丸園では、障がい者と一緒に仕事をするようになって、いろんな気づきがあったという。これまでの指示の出し方は、抽象的で理解できることを前提にしていた。しかし、それでは伝わらない。水は何CCあげればいいのか、どの高さからが良いのか、1枚のトレーは何回洗うのか等々、明確な指示をしないと後継者が育ちにくいし、コミュニケーション不足から職場の雰囲気も悪くなり、なり手不足も解消しない、ひいては農業の衰退につながるのだと実感したそうである。専門機器の導入や、ちょっとした工夫により障がい者でも作業が可能になり、場合によってはより効率的になることもあるらしい。

農業は種まきから収穫まで、すべて一人でできて一人前と考えられてきた。

しかし福祉の方々是最初から一人でやろうとは考えず、作業を切り分けてみんなですべてができるようにする“分業分解”の視点で仕事を考えるそうである。

「作業に人があわせるのではなく、人に作業をあわせることで、結果的に効率化も図れる」という言葉はとても印象的だった。

ユニバーサルデザインの考え方の基本は「人」である。

人を中心にデザインし、新たな作業方法やビジネスの誕生を狙っているのだそうである。だとするならば、今後、更なるビジネスモデルが発生し、業種の垣根もまた健常者と障がい者の差も様々な面で克服できると期待が持てると感じる。